

令和7年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和7年5月10日（土）10時～12時
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 市民19名
- 出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長
大井環境経済部長、海老原建設部長、中場都市部長、担当課長等20名

■懇談要旨

●移動図書館、湖北台図書館建設、シャッター商店街の賑わいの創出について

市民：まず始めに、2点ほど例を挙げさせていただきます。昨年11月のふれあい懇談会で湖北台近隣センターに図書コーナーを40席ほど設置していただきたいというお話をしたところ、市民協働推進課の職員がすぐに後日ヒアリングを設けてくださりまして、本当に迅速にご対応いただきました。こちらの湖北台地区まちづくり協議会さんも大変良くしていただき、私達市民でリバティライブラリという団体を立ち上げて現在活動しております。

本日出席されている方もぜひお帰りの際に見ていただきたいです。貸し出しは出来ませんが、その場で読んでいただくこととなります。現時点でも市民の方たちから「実際に手に取って読めるのがすごく嬉しい」という声をいただいています。本当にありがとうございました。

また、もう一点なのですが、数年前から第1号公園のベンチの老朽化について要望を出させていただいていたところ、先日大変綺麗なベンチが設置されて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

これからの要望として、先日の懇談会でもお伝えしたのですが、最近移動図書館を見かけまして、外でその場で本を読めるという雰囲気がとても良いなと思いました。先ほどの予定の中に移動図書館を導入されるというお話がありましたので、例えばイベントがないときに、日曜日の図書館開館時間に合わせた形で、または平日でも結構ですが、本の貸し出しができる移動図書館を湖北台中央公園に走らせていただけないかという提案です。

また、図書コーナーについてはいろいろとお金がかかっている状態だとは思いますが、将来的には図書館を作っていただきたいという思いは皆さんあります。予定や場所、時期の予定がありましたら教えてください。

最後に、飲食店などで起業したいという方がいて、私も何度かご案内したのですが、例えば湖北台の団地の商店会ですが、シャッター商店になっているところを見に行ったときに、やはり店舗の賑わいを創出するのが難しいという話を何人かから聞き、諦めてしまうという声がありました。例えば我孫子駅前のような形で、そういった賑わいを創出していただくようなアイデアや取り組みがあれば教えてください。

環境経済部長：飲食店の開業支援については、1店舗での開業は難しいかもしれませんが、複数の店舗が集まって賑わいを創出するといったことも考えられます。ぜひ、商業観光課にご相談いただければと思います。

市長：シャッター商店街対策としては、少しずつ空き店舗を活用するための補助制度を作っています。状況を見ながら、それを利用した人たちの意見を聞いて少しずつ改正をしています。家賃補助なども行っていますので、今年の補助制度も含めて商業観光課に相談していただければ、適切な制度をご案内できると思います。

移動図書館については、これまで大型車両を使用していましたが、今後は小型車両を導入する予定です。これにより、今まで入れなかった場所にも入れるようになります。優先的に回る予定の場所もありますが、ご要望のあった場所も含めて検討を進めていきます。

図書館建設については、現在検討中です。以前のふれあい懇談会でもお話ししましたが、建設場所がまだ決まっていません。現在、消防署の移転工事を進めており、それが終わり次第、次の段階として検討を進めることにしています。財政状況も厳しいため、現在市が所有している敷地の中で選択する必要があります。例えば中央公園という案もありますが、都市公園法の関係で簡単には進められません。今の消防署の所であれば、そのまま公共施設として建てることができますので、そこはご理解いただきたいと思います。

候補地としては、現在の図書館の場所に近い湖北台西小学校の敷地内や、湖北分署の跡地などが挙がっています。場所が決まらない限り具体的な計画は進められませんので、皆様や自治会連合会あるいは地区社協といろんなところでどこの場所がいいのだろうか、という話し合いの場を作っていただければと思います。私も定期的に自治会連合会さんとの意見交換会に参加していますので、その中でも議論

できればと思います。

●議員の人事考課制度、定数・報酬削減について

市民：3月議会の議会中継で特に感じたことです。二元代表制の中で、ある議員の対応があまりにもひどかった。最近、他市でも市政の意見交換をする場がありますが、そういった中で今回の議会中継を紹介するのは、とても恥ずかしいと思います。たった1回の選挙で1,000票ちょっと取れたら議員になるわけで、それを市民の代表として我々が認識しているいいものか、という非常に不安というか、疑問があります。そこで取り組みができるのかどうかお伺いしたいのですが、市民の住民投票による議員の人事考課制度というものが導入できないか、一番いいのは議員報酬を住民投票で決定する方法が良いのではないかと思います。成績表みたいに住民投票における議員活動の評価を公開して、4年に一度の選挙ではなくて、常に住民により議員の評価がなされるような制度はあるのでしょうか。そういった制度は導入できるのでしょうか。ご意見を伺いたいと思います。

企画総務部長:私、選挙管理委員会事務局長も併任しておりますので、住民投票制度のご意見に対しお答えいたします。住民投票自体を実施することはできますけれども、今現状としては、実施できる体制が整っている状況にはありません。実施が可能なかどうかという点について申し上げます、出来ないということではなく、可能だということをお答えさせていただきます。

市長:様々なご意見、議会でもいただきます。その中で、例えば議員定数について議会としても削減については、議会運営委員会の中で議論をしていると伺っています。

方向性としては議員定数を削減する方向だとは聞いていますが、具体的にどのくらい削減になるのかはまだこれからであり、結論を待つしかない状況です。

先ほどの評価については、例えば中間評価という形が出来るかどうかということ、それを議会の方でどう判断して、どう制度化していくのかは議会側になりますので、ご意見は議会の方にお伝えをさせていただきます。二元代表制というのはやはり市長と議会であって、当然議会の過半数の結果が、議会の意見となりますから、24分の1では、議会の意見とは言えないと思っています。これをしっかり議会

の中でも認識をしていただければというふうに思っています。ご意見ありがとうございます。市長から議員定数の削減を提案したというのは、これまで聞いたことがありません。やはり議員定数を削減しようとするときは、議会の中から発言をして、議会の過半数の同意が得られて初めて削減できるものであって、私の方からの提案では、おそらく否決されるだろうと思っています。議会に対しては、請願・陳情という方法がありますので、検討していただければと思います。

●湖北駅のホーム屋根の延長、地域コーディネーター講座について

市民：湖北駅のホームの屋根を東西にもう少し長くしてほしいという要望です。また、私は地域コーディネーターの講座を受けましたが、4期からのコーディネーター講座は実施されないというのですが、そうであれば、その先の地域コーディネーターについては、どう考えていらっしゃるか、私も受講して卒業したのですけれど、地域コーディネーターを育成して、その先についてが一番これから大切で、その先にまた集まれる学びの場所があるのか、あとはその地域にどう貢献できるか、あるいは指導を行ってお手伝いという方もいらっしゃると思いますので、今後の先についてどうお考えになっているのかお聞かせください。

市民生活部長：コーディネーター養成講座の件にお答えいたします。講座にご参加いただきましてありがとうございます。市の方としましてもコーディネーター養成講座を受講された方が次にどのように生かしていくかというところは、我々としてもそもそもの課題というふうに思っています。元々は地域で活躍する方がだんだん高齢になってきて、人手不足というところがあって、そういった方が地域でリーダー的な役割を担っていただけるような形で考えまして、こういった事業を進めてきたわけですが、実際にその講座を受けていただいて、次にどう生かしていくかというのが、次の課題というふうに捉えております。今現在は、次の期が予定されていないということですが、受講された方々も含めて、どのような形で進めていくかというのは、今後協議しながら行っていきたいと思っています。

市民協働推進課長補佐：地域コーディネーター養成講座につきましては、令和7年度は、市と市民活動ステーションと共催という形で現在予定しております。そもそも、地域コーディネーターについてご存知ないという方が多いので、そういった意味で

基調講演というところは市で行い、連続講座を市民活動ステーションが行うというところがございます。

市長：湖北駅のホームの屋根延長については、JRとの協議が必要になり、費用が高額となります。私としては優先順位として図書館建設が先であると思っておりますので、現時点では難しい状況です。今後の利用状況を見ながら進めていくことになります。

●五本松公園へのアクセスについて

市民：サッカー場やラグビー場を造っているとのことですが、そこに行くためのバス路線はあるのでしょうか。

市長：今のところは、予定はありません。どのぐらいの人数になるかがわからないことと、皆さんは、道具などを持ってくるでしょうから、車での利用が多くなると考えています。バスで来る方がどれぐらいいるのかは、今後把握していくことだと思います。バスの運行を考えても、運転手がいないう状況で天王台から折り返しのバスなども可能なのか、検討する必要があると思います。現在、布佐のバスの2路線が廃止となり、市が必要経費を負担して運行していますので、こういった状況も踏まえて検討していくことになります。

●湖北台商店街のアーケード、湖北台中央公園のトイレ、樹木伐採について

市民：湖北台団地のスクランブル交差点の商店街のアーケードが今にも落ちそうになっています。前回のふれあい懇談会でも質問いたしました。何かあってからでは遅いと思います。現在、市として所有者さんとどう進められているのか、進捗状況を教えていただきたいと思います。それから、先日の湖北台中央公園で行われた「このぼり祭り」でも、多くの市民がこられて、市長さんもいらっしゃいました。あれだけの人がトイレを利用されます。外見がひどい状況です。とても入る気になれません。財政状況もわかりますが、今日は、財政部長もいらっしゃるのので、外壁だけでも綺麗にしていいただきたい。樹木については、今、伐採をしていますけれども、伐採の期間など教えていただきたい。

建設部長：アーケードにつきましては、所有者の方に地元の住民の方々がご心配になられていることをお伝えいたしました。また、撤去などを含めたお話をしましたが、所有者様もご事情があるようで、なかなか進んでいないような状況です。今後、台風時期になりましたら落下するなどの危険性が増しますので、再度、所有者の方に対応を含めたお話しをしていきたいと考えております。

都市部長：湖北台中央公園のトイレの外壁につきましては、前回、ご意見を頂いておりまして、直ちに行くことはできないとお答えしております。修繕項目が、市内全域でありますので、もう一度現場を確認して、予算内での対応を検討してまいります。樹木の伐採ですが、湖北台4号公園も含めて、松枯れ、ナラ枯れなどにより伐採を行っていますが、こういった状況は毎年発生しております。この対応処置が終わらないと、植栽などに移れません。毎年、12月前にかなりの予算をとって対応しておりますが、なかなか単体では収まりきらないので、状況を見させていただき対応していきたいと思っております。

財政部長：ご意見ありがとうございます。公園のトイレに限らず、いろんな施設が老朽化しております。その中で、こういったものを優先して、皆様の安全と安心、よりよい生活に繋げていけるか、必要最低限のものにつきましても、先ほどのご意見も含めまして、対応を考えてまいりますので、ご意見等をお寄せいただければと思います。

●我孫子市の税収増への取り組みについて

市民：志賀直哉邸、杉村楚人冠記念館などの観光客などの利用状況をお聞きしたい。それと我孫子市は基本的に住民を増やすことによって、税収を増やそうとしているのか。そのために住環境を整えて移住促進の事業も行っているようですが、もう一方で産業に関する企業を誘致しているのか、市はどのような考えているのかなど、お聞かせください。

企画総務部長：私の方からは移住促進について、お答えをさせていただきます。確かに今、全国的に人口減少となっているのはご承知の通りでございますけれども、移住促進をして人口を増やして、その個人の税収に頼っていくのかどうかというご

指摘であったかと思えます。また、我孫子市の産業についてのお話もありましたが、なかなかまとまった土地がないという状況がございます。

やはり、工業団地などの誘致というのは非常に厳しい状況でございますので、まずは個人の税収に頼らなければならない事情は、我孫子の現状であると認識をしております。先ほど、市長から事業の説明がありましたように、都心部に向けて我孫子市を移住先に選んでいただく政策は、強く出しているところです。そのような状況の中で、我孫子市の人口は若干ではございますが、増えております。ただ、その中で外国人が増えているのも事実ですので、その点についてもお伝えをさせていただきます。企画総務部の立場としましては、我孫子市を移住定住先に選んでもらうために、我孫子市をPRする強いプロモーションを行っているところでございますので、そこは継続していきたいと思っております。

環境経済部長：私の方からは、企業誘致についてお答えいたします。誘致をすることによって、そこに働く人を増やすなど、経済効果を生み出すために、柴崎の方で企業誘致の為の土地の調査をいたしました。しかし、頓挫してしまいました。現在、柴崎だけでなく候補となる土地を検討しているところでございます。

市長：白樺文学館や志賀直哉邸、杉村楚人冠記念館など文学や歴史遺産が多くありますが、教育委員会の管轄ですので、利用状況は、私の方ではちょっと分からない状況です。ただ、そこに訪れる方々は、ほとんどが高齢者であることは確かです。時々、フィルムコミッションによって、ドラマや映画の撮影があり、撮影後には聖地巡礼ということで、若い方が訪れるようです。

あと、企業誘致につきましては、残念ながら我孫子市は、東西に細長く、3分の1が農地ですので、農地を宅地などに用途変更するには非常にハードルが高く、なかなか宅地開発が出来ません。しかし、税収確保について、都市部からの移住先となるよう現在の事業を継続し、また、企業誘致先の土地の確保や補助金などについて県や国などに足を運んで、協議していきます。

●防災倉庫の移転について

市民：消防力の強化というところで、消防署整備と消防団を同じ地域にあわせることは、消防力及び防災力の一つの大変有効な手立てと感じています。同様に我が

自治会でも時代に合わせた防災組織を今どのようにしたらいいかと考えておりますが、現在設置してある防災倉庫は、我々の自治会から遠いので、それぞれの地域の中心的な位置にある公園に防災倉庫を移転することは出来ないでしょうか。

市長：防災倉庫の件については、近年同様の要望が増えています。高齢化が進む中で、より身近な場所に設置してほしいという声は理解できます。ただし、公園に設置する場合、遊び場が狭くなるなどの影響も考慮する必要があります。全体のバランスを見ながら、検討を進めていきたいと思っております。また、消防力の強化についても触れておきたいと思っております。消防団の再編や消防職員の増員など、総合的な対策を進めています。防災倉庫の配置も含め、地域の安全・安心を確保するための取り組みを続けていきます。

市民安全課長：防災倉庫の設置場所については、安全性を考慮する必要があります。ご指摘の場所は土砂災害警戒区域に指定されているので、移設を検討する必要があるかもしれません。公園への設置については、行政財産使用許可の取得など、手続きが必要になりますが、可能性はあります。今後、自治会の皆様と相談しながら、より安全で使いやすい場所を検討していきたいと思っております。

●市営団地の家賃及び共益費の徴収方法、空き部屋対策について

市民：湖北台中央公園のベンチは古くなっています。修理をよろしく願います。市営住宅の家賃と共益費の徴収方法について提案があります。現在、別々に徴収していますが、一緒に徴収することはできないでしょうか。また、空き部屋対策や施設の管理についても改善をお願いしたいです。

都市部長：公園のベンチは確認し、必要に応じ改修いたします。家賃と共益費の一括徴収については、システム上の問題などがありますが、検討させていただきます。空き部屋対策については、随時募集を始めるなど対策を講じています。施設管理については、現地確認を行い、必要な対応を行ってまいります。具体的な問題については、後ほど個別にお話を伺わせていただきたいと思います。

●旧ふれあい工房の建物について

市 民：すいませんが、もうひとつ質問がありました。ふれあい工房ですが、閉鎖になりましたが、あの建物は全く使われていないのでしょうか。市の建物や土地は有効に活用していきたいと考えています。

市 長：現在、我孫子市の土木センターが利用しております。道路のちょっとした補修工事などを行う部署であります。もし、建物を利用したいという団体や企業がありましたら、直ぐにお貸しする考えではあります。

●防災倉庫の移転について（その2）

市 民：先ほどの防災倉庫の件ですが、3，4年前に4号公園に防災倉庫を移転した経緯がありますので、先ほどの方にご紹介してもよろしいでしょうか。

公園緑地課長補佐：ご紹介されても問題はありません。

市 長：防災倉庫を公園にということですが、担当課にて現地を確認し、協議させていただきます。日秀団地につきましては、空き部屋が多くなっているという話は、私も聞いております。今年度から随時募集という形で定期募集以外でも、募集を一旦かけるようにしていますので、その辺はご理解いただきたいと思います。共益費と家賃の問題については、今日担当が来ていますので、懇談会が終わった後に、もう一度担当課の方と協議させていただければと思いますので、よろしく願います。

●外国人に対応した本の設置、学校の下駄箱の老朽化について

市 民：図書館は、外国の方が沢山来ます。外国人に対応した本を置いてほしいと思います。もう一点は、湖北台中学校の下駄箱の錆びが酷いので、対応してほしいと思います。

市 長：担当は、教育委員会になりますので、ご意見は伝えさせていただきます。

●企業の利点を生かした取り組みについて

市 民：企業誘致について、NECのような大企業がある利点を活かした取り組みは出来ないでしょうか。例えば、教育分野で NEC と連携し、子供たちにプログラミング教育を提供するなど、新しい発想での協力は考えられないでしょうか。

市 長：ご提案ありがとうございます。NEC との連携については、現在、主にスポーツ分野で協力をいただいています。グラウンドを使用したサッカー大会の開催や、ラグビーチームの選手による指導など、スポーツを通じた地域貢献をしていただいています。教育分野での連携については、現在 NEC ではなく、日立製作所の研修所や電力中央研究所との連携が主になっています。これらの施設では、子供向けの理科教育プログラムや実験教室などを開催していただいています。

NEC については、通信系の事業所ということもあり、教育分野での連携はまだ十分ではありません。ただ、ご提案いただいたようなプログラミング教育など、新しい分野での連携の可能性は十分にあると思います。今後、NEC との対話を通じて、教育分野を含めた新たな連携の可能性を探っていきたいと思います。

企業誘致については、先ほどもお話しましたとおり、我孫子市の場合、大規模な工業用地の確保が難しいという課題があります。そのため、既存の企業との連携強化や、小規模でも優良企業の誘致など、我孫子市の特性に合わせた取り組みを進めていきます。今後も、地域の特性を活かしながら、教育や産業振興など様々な分野で企業との連携を深めていきたいと考えています。市民の皆様からも、新しいアイデアやご提案をいただければ幸いです。